

## たちだより 第19号



### かかりつけ看護師はいますか？

～ご自宅へ My ナースが訪問させていただきます～



タッチには

心を動かすケア  
手で触れるケア  
自立を支援するケア

という意味が込められています

日頃の体調や病気の事・薬・血圧や便秘の事、食べ物や水分を飲み込むとむせてしまう等、困った事があたら看護師に相談しましょう!!

**「今は心配ないよ」という方も転ばぬ先の杖！**

早め早めの対処が重症化の予防につながります。  
一家に一人、身近な相談相手として訪問看護の利用を始めませんか お電話下さい 048 - 646-4701



### 訪問日記

リハビリ病棟を退院後、週1回訪問リハビリに伺っています。  
身体機能の向上を図るためのリハビリ、自宅で使用する歩行器の調整等を行っています。  
退院直後は、自宅内を車椅子で移動されていたのですが現在はご家族見守りの下で歩行器でベッドからトイレまで移動できるようになりました。





## 訪問看護を利用して

平成26年2月末、以前より身体の痛みを訴えていた母は腰の骨折・右足の神経の痛みにより入院しました。その後、症例の少ない多発性骨髄腫という血液のガンを宣告されました。当時娘の私は、突然の宣告に言葉も少なく痛みで身体を動かす事もできない母を見て、今後の生活に不安を感じるばかりでした。母の病気は完治が困難で、日々体調の変動も大きく私自身不安やストレス等で体を壊してしまいました。その際「ご家族の体調も管理するのが仕事です」と話した看護師さんの言葉には「感謝」の一言しかありません。母には、親孝行も出来ず、ダメな娘であります。皆様のお世話になりながら母にはできる限り長生きしてもらい少しずつ恩返ししたいと願うばかりです。これからも、母の笑顔を引き出して下さる皆様とお付き合い頂けるよう、母娘共々、切実に感じ入るばかりです。

【Wさんの長女様】



90歳の母を京都より呼び寄せ、慣れない介護を家内と二人で始めました。『床擦れ』を知らず、放置した結果大きな傷に……。西大宮病院さんとタッチさんの対応・指導で3ヶ月経過。なんとか治癒の見込みが立ったところです。プロの手による処方を素人が見よう見まねですが習得でき、気が付いていなかったその他の症状や体調管理の分かり易いアドバイスをいただきました。介護の経験知識の全くなかった私たちにとって、不安が取り除かれ安心が得られました。ありがとうございます。

【Mさんの長男様】



私の母は、現在介護認定（要介護5）の状態、私一人で母親の介護の日々を送っています。十年前他界した父親を最後まで支えてくださった方々が、西大宮病院の医師とタッチの看護師さんでした。母親は、日々さまざまな不安の中、看護師さんにいつも明るく接して頂き、本人は週1回の訪問看護の日を楽しみにしております。母は、ショートステイ・訪問リハビリ・訪問ヘルパー等いくつかの介護サービスを日々利用しています。「タッチ」さんの場合、急な体調の悪化等の時にもすみやかな対応により、本人も安心して過ごさせてもらっています。親子共々、頼りにしております。

【Sさんの長男様】

TEL : 048-646-4701 F A X : 048-646-4700

Eメール : touch@nishiohmiya-hp.or.jp